

デクリン-SS

DECULEAN-SS

高性能ボイラー内部洗滌剤

同和化学株式会社

DECULEAN-SS

スタンダードタイプ

包装 白色ポリ缶入り

容量 20ℓ

性状 液体

デクリン-SS

NET 20ℓ

同和化学株式会社

デラックスタイプ

包装 白色ポリ缶入り

容量 20ℓ

性状 液体

デクリン-SS

特

NET 20ℓ

同和化学株式会社

【 デクリン-SSについて 】

デクリン-SSは、ボイラーの化学洗浄における多くの欠点を克服して、ごく簡単に洗缶出来るように作られた新しいボイラー洗浄剤です。本剤は高い性能を持ち、その洗浄方法は、ボイラー内部へ本剤を投入するだけの簡単な操作で従来の方法と比較して少人数かつ短時間で多くのボイラーを同時に洗浄することが出来ます。

従来の方法では、多種多様のスケール、スケールの厚さによる使用量の決定、中和処理、防錆処理、モーターポンプによる循環洗浄、薬剤の濃度の判定、更に添加剤（抑制剤、促進剤）などの関係からある程度の化学知識を必要とし、しかもかなりの人員と時間を要し経験を積んだ技術者でないと満足な洗浄は難しい傾向にありました。

弊社ではこうした点に着目し長い間独自の研究を続け、従来の化学洗浄方法の欠点を克服し、簡単で確実にしかも短時間のうちに満足な化学洗缶をすることが出来る独自の洗浄剤を作りました。これがデクリン-SSであります。

それは本剤をボイラー内部へ投入し、そのあと浸漬放置→全ブロー→水洗及び熱湯による洗缶作業→完了という簡単なもので、前述した作業工程が一切不要であります。

デクリン-SSは弊社独自の研究の成果を基に塩素をベースとして、塩化物の持つ強力なスケール溶解力を損なわずなおかつ特殊な抑制剤を加えて金属に対する大きな腐食力を抑制し、更にポリリン酸、特殊界面活性剤などを加えて反応させ製造されたものであります。

本剤は種々の薬剤の重合体となっており、単体酸性液体ではありません。スケールを溶解させた後本剤の一部は水溶液中で金属面に作用し、防蝕リン酸皮膜を形成して発錆を防止するため、ボイラーにほとんど影響がありません。このため新たに防錆剤添加の必要がありません。

被洗浄物体にマグネシウム、亜鉛、カドミウム、アルミニウムなどの両性金属が存在する一部に炭酸に分解して可燃性ガスが発生する場合がありますので火気には十分な注意が必要です。

【 使用方法及び使用量 】

洗浄方法は浸漬法を目的として作られたもので、循環洗浄の必要がありません。使用方法は先ず、ボイラー内部の洗浄を丹念に行い本剤の所定必要量をガットより投入し、常用水線まで給水してバーナーで燃焼させ温度を90℃～98℃くらいまで上昇させます。そして所定の浸漬時間（大体8～10時間）を放置します。

このあと、溶解沈殿したスケールをブローによって完全に排除して水洗いしたあと、熱湯にて洗缶します。これで洗缶作業は全て完了です。溶解したスケールは綿状沈殿の状態となりブローパイプに詰まったり、缶底部に溜まったりすることはほとんどありません。

本剤の使用量はスケール付着状況の差異及びスケール成分によって一概に決定出来ませんが、およそ3%～30%水溶液の範囲が最も適当であります。ごく一般的なものを下記の表に示します。スケールの平均的厚さが本表のものと同等であってもその成分によって種々のスケールがありこの通りにはならない場合

がよくあります。この表はごく通常の場合であり、一応の目安としてください。

	スケールの平均的厚さ	適当と思われる水溶液
1	1 mm未満	3%
2	1 mm ~ 2 mm未満	3% ~ 5%
3	3 mm ~ 5 mm	7% ~ 10%
4	5 mm ~ 10 mm	10% ~ 15%
5	10 mm ~ 15 mm	20% ~ 30%

【 廃液の排出と処理について 】

デクリン-S S そのものには公害処方によって特別に指定された有害物は全く含まれません。しかし本剤の廃液はそのまま海、河川、湖、どぶ川、溝等のいわゆる公共用水域へ排出することが出来ません。

本剤の廃液排出には細心の注意が必要で、排出の前に必ず BOD, COD, PH, 鉄その他重金属類（含まれている場合）等水質汚濁法及び各都道府県の公害防止条例に規定されているところの「排出水の規制基準」に合致するよう適切な処理を行って下さい。

【 取扱上の注意事項 】

- ① 原液に長く素手を漬けているとあれると同時に多少かゆみを感じますから、取扱時は必ず、保護手袋を着用してください。
- ② 塩ビ系の化学繊維類は溶解させますので、注意してください。ゴム、麻、木綿、わら縄等には変化はありません。
- ③ 本剤が最高の効果を発揮する温度は90℃～98℃です。出来る限りその温度にあげてください。
- ④ アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、カドミウム、錫などの両性の単体金属とは化学反応を起こし溶解させて可燃性ガスの発生がありますから火気には充分注意して下さい。
- ⑤ 本剤取扱時は必ず、保護手袋、保護メガネ、保護着衣を使用して下さい。

【 特 徴 】

- ① 原液が漏れたり流出しても、火災、火傷その他の心配はありません。
- ② ごく簡単な作業で洗缶が完了し中和処理、防錆処理、抑制剤などの添加の必要が先ずありません。
- ③ ほとんどのボイラスケールを溶解させる強力な力を持っており、洗浄が素早くできます。
- ④ ごく短い時間、少人数で同時に多数のボイラーを洗浄することが出来、従来の方法と比較したとき経済的であります。
- ⑤ 強力な脱脂力と脱錆力を同時に備えており、多少油分の含まれたスケールも同時に洗浄することが出来ます。

【 洗缶における注意事項 】

- ① はじめに内部のアルカリ性缶水を完全にブローで排除し、内部を丹念に水洗いし、缶底部のカマドロも完全に除去する。
(これは出来るだけ本剤の消費量を少なくするための作業です)
- ② つぎに本剤の所定必要量を缶内部へ投入して下さい。
- ③ 次にスケールが付着しているところまで給水を行いバーナー燃焼させて95℃程度まで温度を上昇させて下さい。
- ④ このあと所定の浸漬時間放置します。その後、全ブローを行い溶解したスケールを排出します。そして圧力をかけたホースで内部を丹念に水洗いし、給水を行って蒸気圧力を2Kg/cm²ぐらいまで上昇させ全ブローを行って下さい。これで作業は完了です。

【デクリン-SS廃液処理 COD濃度表 (ppm)】

デクリン-SS濃度 (%)	廃液処理そのまま	10倍液	20倍液	50倍液	100倍液
3	120	20	15	10	0
5	320	50	30	25	0
10	630	80	55	30	10
15	715	120	80	60	20
20	1120	150	110	90	30
30	1360	200	150	120	50

以上SPLによって廃液のPHを5. 6にしたもののCODである。

尚、参考までに通常家庭における洗濯物をした場合、洗濯機により出る始めの排水のCODは、290～320位あります。